

## 2020 年度事業 中間評価報告書（一般社団法人湖東まちづくり）

### 評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名（非公開）	団体・役職
内部	再評価全般		代表理事
内部	〃		理事
内部	〃		理事

### A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

#### ① 短期アウトカムの進捗状況

指標	目標値・状態	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
孤立の減少、利用者の意識改革  ①バス利用者の内容と数 ②進路先の選択数 ③送迎時間 ④地域活動参加の具体例	湖東地区において、バスの運行開始により通学通勤の不便さと送迎役の人の負担が軽減され、自分たちのためのバスという認識が生まれ、将来像の実現に向けての展望（希望）が生まれ動き出している。  ①60人/日 ②遠方校増加 ③1時間・数日/月 ④地域活動に参加できる	2023年2月	通勤通学バスの運行がきっかけとなって、地区内の交通弱者全体の活動に拡大してきた。

<p>コミュニティの確立、人・組織の成熟</p> <p>① 課題解決に向けた動きの具体例(地域を語る場での意見)</p>	<p>湖東地区において、地域の課題に自由に取り組むコミュニティの動きが生まれ、新会社を核に課題の解決に向けた人・組織が動き出しはじめている。</p> <p>① 地域を語る場から課題解決に向けた動きの具体例が始まろうとしている。</p>	<p>2023年2月</p>	<p>まちづくり協議会、東近江市ラウンドテーブル運営委員会と連携して、湖東地区のまちづくりの課題を対話する「まちのわ会議」が構築できた。2022年3月に開催予定であった。</p>
--	---	----------------	---



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</p> <p>と自己評価する</p>	<p>・通学バスから交通弱者全体へのバス利用と対象者の範囲の拡大</p> <p>・バス事業者登録からボランティア運行に変更</p> <p>以上2点より、短期アウトカムも含め事業計画全体を変更する。</p>

## B) 事業の改善状況の評価

### ① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の 適切性	活動は計画どおり実施されているか？  住民主体のバス事業の運営体制が構築されているか？ 指標 1：バス事業の登録できているか？ 指標 2：バス事業の運営体制が構築できているか？ 指標 3：社員内容と数：50 人？	  指標 1：バス事業の登録できていない 指標 2：バス運行の運営体制は構築できた。 指標 3：社員 11 名、うち 1 名事務専属	  指標 1：バス事業の登録は、実績のない本法人の持続性、安全管理が現在整っていない等と行政より指摘あり、事業申請までに至らずボランティア運営の形態とした。 指標 2：2021 年 10 月法人化、マイクロバス、セレナの中古を取得、運転手 10 名を確保でき運営体制は整った。 指標 3：社員 11 名、今後も活動を広報して、メンバーを募集していく。
	通学バス利用者（利用する子ども、保護者）との総働体制が構築されはじめているか？ 指標 1：「親子の会（仮称）」の体制が構築できているか？ 指標 2：会員・賛同者の内容と数：20 人（100 名）？	  指標 1：「親子の会（仮称）」の体制はできていない 指標 2：14 名（通学バスの試行に乗車した子どもの数）	  指標 1、2：通学バスの試行に乗車した子どもの親に対して話し合いの会議を試みたが、利用はしたいが、時間に余裕がないなどの理由から事業に係わることはしたくない人ばかりで会の結成に至らなかった。常に乗車していた子どもたちの大半は高校 3 年で 2022 年度は卒業で乗車しなくなった。 中学校の協力を得て、2021 年度中学校卒業生 90 人に通学バス利用案内（兼申し込み）および利用説明会の案内チラシを配布、説明会などを通して乗車の意向を確認した。

				<p>結果 10 名申し込みがあったが、毎日乗車は 3 名に留まり、10 名程度以上の乗車がないと採算面で継続が難しいため、一旦休止とした。今後、運行してほしいという声や利用の申し出が増加した場合は、運行再開を検討する。また、利用したい保護者の中には、仲間を増やしていけるよう協力すると申し出て下さっている方もいる。</p> <p>今後は通学以外の子どもたちのバス利用も、地区内小中学校、学童保育、まちづくり協議会などと検討していく。</p>
		<p>湖東地区において、地区住民との総動体制が構築されはじめているか？</p> <p>指標 1：「バス利用者の会（仮称）」の体制が構築できているか？</p> <p>寄付 100 万円程度・支援の輪（協力者 30 人以上）？</p>	<p>指標 1：「利用者の会（仮称）」の体制はできていない</p>	<p>指標 1：湖東中学校OBへの呼びかけ、自治会ごとの説明会で、「利用者の会（仮称）」を設立する予定であったが、バス事業者としての登録ができなかったこと、コロナ禍で説明会が開催できなかった。しかし、ボランティア運営した通勤通学バスの宣伝効果より、民生委員、社協、まちづくり協議会、湖東おたすけ隊などの話し合いから高齢者の交通弱者支援として昼間の通院・買い物利用の要望があった。このため、2 月より週 3 回で買い物お出かけバスの運行を行っている。</p> <p>各住民組織への広報、意見交換をして、各集会の送迎やおでかけ事業の輸送手段としてコラボ事業を展開していく。</p>

	<p>湖東地区において、企業との総働体制が構築されはじめているか？</p> <p>指標1：乗車人員10人／日・宣伝3社・資金50万・車両等の協力企業の出現・会合への参画？</p>	<p>指標1：企業との総働体制は構築できていない</p>	<p>指標1：企業訪問して意見交換したところ、現在、社員の全員がマイカー通勤で、すぐにその形態を変更するのは困難があるという旨の返答であった。2021年5月6日～6月4日の間は、企業のバスを借用できたり、活動に賛同し寄付の申出もあったりした。</p> <p>また、図書館・コミセンなどの公的機関のほか、ガソリンスタンド、コンビニ、JA、直売館等の地区内に窓口のある企業はチラシの設置・配布など、広報において協働でできた。</p> <p>さらに、買い物お出かけバスでは、i・martはチラシの配布、平和堂（湖東店、愛知川店）は店舗入り口前の駐車場を優先的に利用などの協働ができた。</p>
	<p>湖東地区において、湖東地区を語る場が構築されている。</p> <p>指標1：地域を語る場の体制が構築できている</p>	<p>指標1：地域を語る場の体制が構築できた。</p>	<p>まちづくり協議会、東近江市ラウンドテーブル運営委員会と連携して、湖東地区のまちづくりの課題を対話する「まちのわ会議」が構築できた。2022年3月に開催予定であった。</p>
	<p>今後留意していかなければならないことは何か？</p>	<p>&lt;今後の留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報</li> <li>・ お出かけバスの申込方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ WEB、チラシの他、各団体への対話を通して、バス利用の方法を協働で検討していく。</li> <li>・ お出かけバスの申込は、予約であるが、予約することが利用のハードルとなっているので、住民と対話を通して定期便の検討もしていく。</li> </ul>

<p>実施をとおした活動の改善、知見の共有</p>	<p>アウトプット発生に影響を与えた阻害要因、貢献要因は何か？</p>	<p>&lt; 阻害要因 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業の登録ができなかった。</li> <li>・コロナの影響で自治会をはじめ説明会が開催できなかった。</li> <li>・生徒間のつながりの希薄化</li> </ul> <p>&lt; 貢献要因 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運転手経験者の参画</li> <li>企業バスの借用</li> </ul> <p>・バスの運行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃を徴収できない。</li> <li>・コロナの感染状況を見て、自治会など地区内団体との説明会を開催していく。</li> <li>・当初は乗車した生徒から口コミで搭乗者が増加すると想定していた。しかし、友達といっしょに乗りたくないや、家族の送迎が楽などの理由から拡がりなかった。</li> </ul> <p>・バスの運転手経験者の参画や企業バスの借用で2021年5月6日~6月4日平日、朝夕7便の運行ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運行の実施が広報となって、地区の認知が進んだ。</li> </ul>
<p>組織基盤強化・環境整備</p>	<p>事業の運営管理体制に問題はないか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学バスの支援を主目的としたメンバーのテンションの持続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、まちづくり協議会の「子育て支援部会」のメンバーが子育て中の親のニーズを基に始まった。今年度通学バスの運行、意向調査より継続的に乗車する生徒が少なく運休となった。このために、通学以外の子どものお出かけバスの利用を、今後検討していく。</li> </ul>
	<p>組織の財務状況、財務体質に変化は生まれているか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務体質に変化は生まれていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス事業の登録ができなかったため運賃で資金の確保ができない状況である。このため他組織と協働のバス企画を行い、寄付で資金調達を目指す。</li> </ul>

	地域内で新たに構築された人や団体との協力、連携関係はあるのか？	・新たに連携関係ができてきた。	・通学以外の交通弱者対策としてバス利用を実施したことで、民生委員、社協、まちづくり協議会、お助け隊などとの連携が始まろうとしている。
--	---------------------------------	-----------------	--

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

アウトプット発生に影響を与えた阻害要因、貢献要因は何か？と同じ

③ 事前評価時には想定していなかった成果

買い物おでかけバスの運行開始。



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</li><li><input type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</li><li><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</li></ul> <p>と自己評価する</p>	<p>・バス利用と対象者の範囲の拡大（通学バスから交通弱者全体へ） ・バス事業者登録からボランティア運行に変更</p> <p>以上2点より、短期アウトカムも含め事業計画全体を変更する。</p>

添付資料

- 1.中間評価実施前の事業計画
- 2.評価計画書
- 3.中間評価実施後の事業計画